

長年自治会長をお務めいただき ありがとうございました

長年自治会長をお務めいただいた^{なおい まさほる}直井正治さん
(下町3区自治会長4年)が、退職に伴い^{しんじょう 哲二}新庄哲二
上三川町自治会長連絡協議会長から表彰を受け
ました。長い間大変お世話になりました。

上三川町自治会長連絡協議会及び町では、
円滑な自治会運営や自治会活動の推進のため、
複数年にわたり自治会長をお勤めいた
だくことを引き続き推奨いたします。



新庄哲二会長、直井正治さん

春の褒章受章

令和2年春の褒章を加藤様が受章されました。

黄綬褒章



加藤 勇一氏

昭和54年に日産自動車栃木工場に入社。県を代表する機械修理工であり、
平成30年には厚生労働大臣表彰を受賞。
長年の功績が認められました。

長年のご功績に対する栄えある受章を
心からお祝い申し上げます。

交通安全に関する表彰

5月15日、^{くりた きょうこ}栗田京子さんが、関東管区警察
局長・関東交通安全協会長の連名で、交通安
全功労者表彰を受賞されました。

京子さんは、下野地区交通安全協会女性部
会上三川支部長を務められた他、現在も同支
部の理事をされるなど、長年にわたり交通安
全普及啓発の活動をされています。

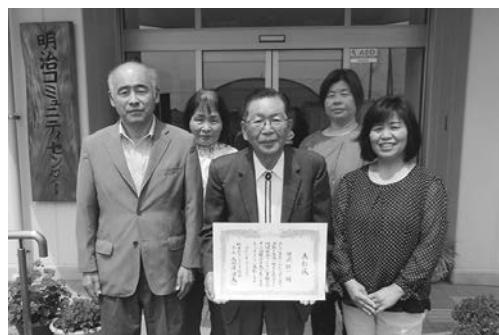
また、京子さんのご主人である^{ひろし}洋さんにも、
併せて感謝状が贈呈されました。



栗田洋さん、栗田京子さん

栃木県コミュニティ協会長 表彰

^{ますぶち せいいち}増淵鉦一さんが栃木県コミュニティ協会頭
彰を受けました。明治コミュニティ推進協議
会設立当初から平成29年度末まで会長とし
て、ふれあい配食、コミュニティセンターの開
所、ブラスバンド活動「明児」やかみたんカル
タの作成など、支え合い助け合いの地域づく
りを心掛け、活発な活動及び組織の発展に尽
力した功績が認められたものです。



写真中央が増淵鉦一さん

新たに委嘱された民生委員・児童委員を紹介します。

6月1日、民生委員・児童委員2名が厚生労働大臣から委嘱されました。

困ったことがあるときには、各地区担当の委員にお気軽にご相談ください。

秘密は厳守されます。

氏名(敬称略)
電話番号
担当地区



うえの のぶお
上野 信男
Tel(56) 6512
大町



いはらだ ひろし
居原田 博
Tel(52) 0575
間の田・県営住宅

▶問い合わせ先=健康福祉課 福祉人権係

☎ 56 9128

FAX 56 6868

学童クラブへ「干しいも」を提供

5月21日、町内の若手農業者で構成されている「上三川町4Hクラブ協議会」から、学童クラブに通う子どもたちに、「干しいも」が提供されました。

この「干しいも」は、会員の石崎有祐さんいしざき ゆうすけが町内で生産・加工したものです。

子どもたちを元気づけたいという思いから、3月の「いちご」に続く第2弾として実施されました。



海老原有希選手後援会から各学校へ記念品

5月27日、海老原有希選手上三川町後援会から町内の小中学校へ記念品購入費用として目録が送られました。

海老原有希選手上三川町後援会は、オリンピックや世界陸上選手権で、やり投競技選手として活躍された海老原有希選手を応援するため結成され、選手として引退されるまで世界各地で活動を続けてきました。

解散にあたり、後援会では将来上三川町出身のオリンピック選手が再度現れることを願い、町内小中学校に記念品を贈ることを決めました。

今後、各小中学校で必要となるスポーツ用品等を記念として購入する費用に充てられます。



贈呈品を受け取る上三川町小中学校長会柴山代表

長年の道路愛護活動に感謝状

5月27日、栃木県道路愛護会功労者会長より東蓼沼西自治会に感謝状が贈呈されました。

本来であれば栃木県道路河川愛護連合会総会にて贈呈予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、星野町長から贈呈されたものです。

東蓼沼西自治会では、「自分たちの道路は自分たちで維持・管理を行う。」という考えのもと、路上清掃のほかに軽微な修繕などを、役場と協議しながら行っています。

平成30年度からは、長年堆積した道路側溝の清掃を実施しており、それらの道路愛護活動に対して感謝状が贈呈されました。



表彰された東蓼沼西自治会青山自治会長



側溝清掃を行う東蓼沼西自治会員たち

小中学校へ体温計を 寄付していただきました

5月18日、国際ロータリー第2550地区第4グループ(真岡・真岡西・益子・しもつけ)より、町立小中学校へ体温計を寄付していただきました。

いただいた体温計は非接触型のため、登校時にあわせて検温することができるもので、町立小中学校に各1本ずついただきました。

今後は、その体温計を活用し、児童・生徒の体調管理等に活用してまいります。



ヘルメットシールド等を 寄付していただきました

6月2日、農事組合法人TOCHIGI FARMより、防護服を100枚の他、ヘルメットシールドや防塵防菌マスク等を寄付していただきました。

新型コロナウイルス感染症が、1日でも早く終息するよう役立ててもらえればということから、寄付していただきました。

いただいた防護服等は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に活用させていただきます。



防護服とフェイスシールドを寄付していただきました

5月25日、日産自動車株式会社栃木工場より、防護服500枚とフェイスシールド150個を寄付していただきました。

防護服は、同工場で車両の生産ラインに従事している社員のみなさまが、車のシートなどに被せるビニールを使用し、作業ごとに分担した流れ作業で作られ、フェイスシールドは、同社の追浜工場で作られました。

いただいた防護服は町内医療関係者に、フェイスシールドは町内小中学校に配布させていただきました。



5月21日、SONPOケア宇都宮さつきデイサービスの入所者及びスタッフのみなさまより、防護服105枚とフェイスシールド105個を寄付していただきました。

「必要なところに必要な物を」ということで、地域貢献の一環として作られたことがきっかけとなっています。過去には、つまようじ入れや雑巾などを寄付したこともあるそうです。

「作業を分担して、みなさんで楽しみながら作ることができた」とのことで、利用されている皆さんのイキイキしている様子が伺えました。

いただいたフェイスシールドと防護服は、町内の医療機関に配布させていただきました。



手作りマスクの寄付をいただきました

5月18日、なかほら中原みゆきさん、のざわ あやこ野沢綾子さんより、子供用の手作り布マスク100枚を寄付していただきました。

大人用のマスクを作っていく中で、「子供用のマスクが手に入りづらいので作って欲しい」と言われたことがきっかけで子供用のマスクを作り始めたそうです。マスク作りをしていく中で、ゴムや糸がなかなか手に入れられなかったため、町商工会女性部のみなさんにご協力をいただいて、それらの材料を手に入れることができましたというエピソードもお聞きすることができました。

いろいろな柄の布で作られていますが、そこには「通学の時に、口元から明るくなってくれば」という思いが込められています。



マスクを寄付していただきました

5月19日、株式会社日環より、マスク10,000枚を寄付していただきました。

「マスクをなかなか手に入れることができない人たちの手に渡ることで、地域への恩返しができる」という考えから、今回の寄付に至ったということです。

いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に活用させていただきます。



5月11日、大沼篤史さん（おおぬま あつし）（奥様が本町の出身）から、マスク900枚を寄付していただきました。

大沼さんは、本町の子供たちに対する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に役立てて欲しいとのお気持ちから、マスクを寄付してくださいました。

いただいたマスクは、町立小中学校に400枚、子育て世帯に500枚、配布いたしました。



各小学校長に手渡されました。

5月26日、株式会社グランフォレより、マスク5,000枚を寄付していただきました。

「マスクが手に入らず困っている人たちに活用してもらえれば」という思いと、同社の社長が本町出身という縁から、今回のご厚意に至ったということです。

「マスクは、子育て世帯等に配布していただきたい」とのご希望がありましたので、意向に沿った活用をさせていただきました。



5月20日、株式会社日産クリエイティブサービスより、マスク1,000枚を寄付していただきました。

マスクが手に入りにくい状況の中、物流に関連した会社として何か地域に貢献したいという思いから、今回の寄付に至ったということです。

いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に活用させていただきます。



寄付をいただきました

5月15日、上三川町建設事業協同組合より、寄付金が寄せられました。

新型コロナウイルス感染症が流行している中、「組合として住民の方たちや地元の企業のお役に立てれば」という思いから、会員のみなさまより寄付をいただくこととなりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、庁舎2階と3階に窓口対応用の仕切りを設置していただきました。



マスクを寄付していただきました

5月28日、株式会社ウスイ産業並びにプロレスリングZERO1の^{セロワン}大谷晋二^{おおたにしんじろう}さんより、マスク6,000枚を寄付していただきました。

ボランティア活動が縁で知り合い、東日本大震災の時には被災地の応援と一緒にいった経験から、助け合いや協力することの大切さを感じたこと、本町に中間処理施設があることから、マスクを寄付していただくことになりました。

いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に活用をさせていただきました。

6月1日、連合栃木宇河地域協議会より、マスク1,000枚を寄付していただきました。

「緊急事態宣言が解除されましたが終息の気配を見せない状況の中、少しでも地域の方たちのお役に立てれば」という思いから、マスクを寄付していただくこととなりました。

いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に活用させていただきました。

